

みんなで輝け！日本

デジタルデバイド返上！日本

for スマートライフ®

PC DEPOT 会員
40 万世帯
100 万人

百万人のみなさまと

挑む。

謝辞
スマートライフメンバーズクラブ
（全国ご家族の皆さまへ）
このたびは、会員の皆さまの厚意により、「スマートライフデザイン学（SLD）」という学際的学習を皆さまにお知らせできる運びとなりました。心より御礼申し上げます。
2018 年以降、当クラブの大幅なモデルチェンジの進行に伴い、心配をおかけしたところと存じます。
その一方で、中でも日頃より私たちの付き合っていたおかげで、会員様 10 万人、世帯 10 万人、10 万時間を超えるデジタル支援の実践から、膨大な「使える・使えない」という個人の課題ではなく、社会全体の課題となりました。

スマートライフメンバーズクラブ
株式会社ピーシーデポコーポレーション
株式会社イージェーワークス
株式会社スマートライフファストアース
株式会社スマートライフユニバーシティ
株式会社スマートライフホールディングス
株式会社スマートライフファストアース
株式会社スマートライフアーキテクト
一般社団法人スマートライフ教育研究所



「ご挨拶とご報告

会員 ご家族の皆さまへ
日頃より会員皆さまには格別のお引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。
当スマートライフメンバーズクラブは、全国の皆さまと共にみんながいるから、みんな大丈夫！と、言える日本を目指し、共創に向けた活動を開始いたします。

皆さまも感じていると思いますが、くらしのデジタル化が一気に進んでいます。
「気がついたら、まわりはデジタル景色だった」と感じている方も多いのではないのでしょうか。
今後も街のデジタル化は、皆さまの生活に影響を及ぼしながらさらに進むものと思われれます。

当クラブは、会員皆さまの「スマートライフ」の実現に向け、日々の暮らしに学びを取り入れ、豊かなくらしを実現することを目指す「巨大アカデミア」として、くらしに根ざした共創活動を進めてまいります。

そして日本社会が長年抱えてきた「巨大なデジタルデバイド問題」の解消に、当クラブが貢献できる共創の準備を開始いたします。

当クラブがこれまでに築いてきた 100 万人・100 万時間を超える様々な資産・教材・設備・施設・知財。その資産を共創に活用し、「日々のくらしの学び」を実現しながら日本の皆さまの「スマートライフ」の普及に貢献してまいりたいと存じます。

社会のデジタル化は今後さらに進みます。ですが、会員・ご家族の皆さまには、私たちがついてまいります。どうぞご安心いただきたいと思います。

スマートライフ・ミリオンアカデミア 発起人
株式会社ピーシーデポコーポレーション
代表取締役社長
野島 隆久

社会がデジタル化しても
“みんながいるから、
みんな大丈夫！”と、言える日本へ
10 兆円にのぼる "生活者のデジタル格差損失"に"100 万人のアカデミア"で挑む

私たちはミリオンアカデミアです。
“私はデジタル苦手で、わからないことだらけ”
“あっ わかったよ。またよろしくね”
“友だちにも教えておくれ”…と言える社会を目指しています

みんなで輝け！日本
1,000 万人アカデミアへ

日本の巨大損失に
巨大アカデミアで挑む

私たちは
100 万人アカデミアです

10 兆円規模の損失
待たなし

デジタルデバイド
日本の実情



持続可能な社会の実現に向け
生活者の "スマートライフ®" を支援する人材を創る。

社会のデジタル化が急速に進み、超スマート社会「Society5.0」実現へ向けた動きが活発になっています。今こそ、生活者の "スマートライフ®" を支援する人材の育成が必要です。

本活動 (SustainableDevelopmentforSmartLife(SDSL) 活動) は「生活者のスマートライフを支援する人材を創る」という趣旨に賛同する方々の輪を広げ、産官学民の垣根を越えた活動を全国に提唱するものです。

1,000 万人アカデミアへ向けた
調査報告・提言書



日本のデジタル格差による年間 12 兆円への経済損失を、人的支援モデル「お茶の間のアカデミア」により都市圏へと転移する調査報告書。取りこぼし文化の根拠と持続可能な成長エコシステムの確立が、日本経済再生のゲームチェンジャーの鍵となる。巨大損失対象者から 1,000 万人の学習者を育成。

巨大アカデミアの
準備が進んでいます！



当クラブは、1,000 万人の方が「自ら学べる」「困る前に開ける」「困ったら相談できる」、そんな「みんながいるから、みんな大丈夫」と言える「共同アカデミア」が理想と考えています。誰もが「私はデジタルが苦手で、わからないことだらけ」と口に出すことができ、共に課題に取り組み、「ああー、わかったよ！ 今度は早めに関くね！」「また聞いてください」といった温かく素敵な会話が広がる社会を、このアカデミアで実現したいと存じます。「みんなで輝け！日本」を目指し、「みんながいるから、みんな大丈夫」な日本へ、当クラブは、その先陣となる 100 万人アカデミアとして、社会に貢献してまいります。会員の皆さま、今後とも変わらぬお付き合いをよろしくお願いいたします。

日本のデジタル化は、先進国フィンランドなどと比べても見劣りするのが現実です。当クラブの会員の皆さまからも「私はデジタルが苦手で、わからないことだらけ」とよく伺います。そして「ああー、わかったよ！ 今度は早めに関くね！」「またよろしく」となります。その会話こそ、当アカデミアの最大の資産です。私たちは、皆さまのくらしの疑問や課題に向き合い、100 万時間以上をかけて「お茶の間の課題」をひとつずつ紐解いてまいりました。皆さまのお茶の間の課題は、日本全体のデジタルデバイドの課題であり、100 万時間を超えた実践の知恵のもとでその問題を共に解いていくことが、日本のデジタルデバイド返上への「ゲームチェンジャー」の道だと私たちは考えています。

会員 40 万世帯・100 万人による 100 万時間に及ぶデジタルお困り支援の実践から、膨大な実績を形式化し、「学際的学習としてのスマートライフデザイン学 (SLD)」を定義、構造を確立いたしました。SLD は、6 万時間を超える教材開発・100 万時間の実証・国際基準・SROI 分析までを包含した、くらしに根ざした学習体系を持っています。今後も 100 万人の会員ご家族の皆さまと共に、デジタル化する社会における「お茶の間の豊かさ」を目指し、「学び」を通してその普及を実現してまいります。そして築き上げた学際的基盤をもとに、日本社会に貢献すべく各方面との共創を開始します。

皆さまご存知の通り、デジタルデバイドによる社会損失は巨大化し、それは一時的な「異常現象」ではなく、継続的に発生する損失です。報道を見れば、若者世代においても SNS 依存やオンラインカジノの誘惑など、お茶の間の心配事が絶えません。加えて、DX の遅れによる生産性低下も損失を拡大させています。これら「生活者のデジタル格差による損失」は、年間 10 兆円を超える規模と推計されます。テレビをつけると「来月からは」このアプリで」と言われ、焦りとともに「待たなし」か「諦め」かの二択が常識になりつつあります。家庭のデジタル対応不足が生み出す損失は、本来生み出されるべき価値と言えます。すなわちこの損失は日本の「巨大な未生産価値」と言えるでしょう。

お困りはございませんか？
くらしのあちこちで「〇〇ペイ」や「〇〇オンライン」と、街中がデジタル化。大規模イベントではチケットが電子化され、不慣れた人は「夢のイベントに参加できない」など、さまざまな不便が起きています。さらに若者は「オンラインカジノ」や「不正なトラブル」に巻き込まれるなど、全世代でデジタル化による格差がくらしの損失に直結しています。同時に「生活者のデジタル格差による損失の規模」は上位にあると考えられます。もはや日本のデジタルデバイドは、単に「使える・使えない」という個人の課題ではなく、社会全体の課題となっています。

— 登録商標 —
私たちは、日本の「スマートライフ®」を実現目指し、長年培ってきた知見や経験を社会に公開するとともに、その開発、育成、普及に努めています。これらの知的資産は、ピーシーデポグループが推進する「Sustainable Development for SmartLife (SDSL) 活動」に基づき展開されるものです。なお、「スマートライフ®」をはじめ、右記の名称は全て当グループの登録商標です。

スマートライフ
デジタル担当
デジタルバロット
スマートライフバロット
デジタルライフバロット
6595200
6490988
6716259
6782840
6782839

SmartLife
デジタルライフプランナー
デジタルライフコンサルタント
スマートライフプランナー
スマートライフアドバイザー
6949841
6148703
6295833
6295835
5695198

スマートライフスタイリスト
デジタルコックピット
タウンコックピット
タウンバロット
AI コックピット
6805530
申請中
申請中
申請中
申請中

100 万人 100 万時間のデジタルデバイド解消を支援するノウハウを共創に向け公開!!

当クラブは会員 40 万世帯 100 万人に対する累計 100 万時間に及ぶ支援の実践を形式化し、学際的学習「スマートライフデザイン学 (SLD)」を確立、100 万人アカデミアに至りました。SLD は 6 万時間超の教材開発や実証実験、国際基準、SROI、くらしとデジタルを包摂した体系を用いています。